

That's 市民力



発行：長崎市市民協働推進室 〒850-0022 長崎市馬町21-1 TEL 095-829-1125 FAX 095-829-2925

THAT'S 市民力 11月号

- 実践的な地域活動を学びました
—市民協働講演会 1
- これって協働？
—東山手甲十三番館の活用 1
- 伝習所「塾」がアートイベントを開催
—アートマニアながさき塾 2
- 非常食体験を通じて防災を考えました
—ランタナカフェ 2
- 「被爆70周年から未来へ」
—ちゃんぼんミーティング 2

実践的な地域活動を学びました —市民協働講演会

11月23日（月）、長崎県美術館ホールで、市民協働講演会「一人じゃ円陣組めない！ ～マジメでナンパなまちづくり～」を開催し、約50人の皆さんが参加しました。

講師は、長野県塩尻市の職員で、商店街の賑わい創出活動に取り組む有志のプロジェクト「nanoda（なのだ）」の代表を務める山田崇さん。

山田さんは、「地域の課題を想像で捉えるのではなく、実際に住んでみないと商店街の現状や課題は分からない」との考えのもと、仲間と一緒にお金を出し合って商店街の

空き家を借り、様々な企画を実施しています。

この日は、日々の活動紹介に加え

て、まちを元気にしたいという想いを実現していくための、人との関係の築き方やアイデアの集め方、行動の起こし方などについて、自身の経験を交えながら語っていただきました。



参加した皆さんからは、「小さなことやできることから始めることが大切だと学んだ」といった感想が寄せられました。



これって協働？ —東山手甲十三番館の活用

東山手甲十三番館は、明治26年～27年、東山手の地に建てられた洋風住宅です。平成20年に市が取得し、平成23年から「NPO法人長崎の風」と協働で施設運営の実証実験を行っています。

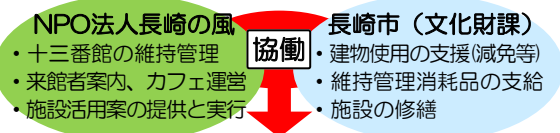
実証実験では、NPO法人長崎の風が、施設の維持管理、来館者への案内、カフェの運営や施設の活用案の提供などを行っています。市文化財課は、建物使用に係る使用料

の減免などの経済的支援や消耗品の支給、施設の修繕などの役



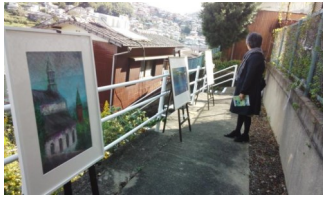
割を担っています。

団体のおもしろいアイデアを活かした企画で、9月には「夜の居留地を体験してみよう」を開催。参加者は、普段入れない夜の洋館でいつもと違う居留地の雰囲気を感じました。両者の協働により、アイデア豊かな取り組みが行われるとともに、居留地全体の魅力アップへとつながっています。



- 洋館を活かした居留地の魅力アップ
- 市民活動団体のアイデアを活かした運営
- 観光客や市民への案内やカフェ機能の提供

伝習所「塾」がアートイベントを開催 —アートマニアながさき塾



長崎伝習所で活動する「アートマニアながさき塾」が、11月上旬から中旬にかけて、「風頭山・亀山社中 歴史とアートの道」(2~8日)「中川町・築町・鍛冶屋町 まちなかアートフェスタ」(2~14日)の2つのイベントを開催しました。

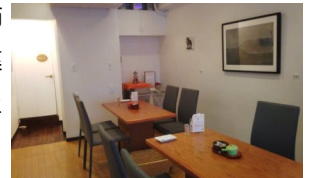
「歴史とアートの道」では、風頭公園から亀山社中跡に至るコースを設定し、随所に写真や絵画、現代アート作品などを展示しました。通りがかった観光客や地域の皆さんは、見晴らしの良い場所に展示された



風景画と実際の風景を交互に眺めたり、公園に展示された現代アート作品を不思議そうに覗き込んだりしていました。

「アートフェスタ」では、3つのまちの喫茶店に、それぞれジャンルごとの絵画を展示しました。こちらは、地元のお店の人たちと一緒に、まちを元気にしていこうというねらいのもと開催されたもので、訪

れたお客さんは、いつもと違うお店の様子を楽しんでいたようです。



非常食体験を通じて防災を考えました —ランタナカフェ

市民活動センターで不定期に開催している「ランタナカフェ」は、テーマを設定してゲストを迎え、お茶を飲みながら気軽な雰囲気でお話しをする集いです。

11月9日には、「非常食の体験と防災の心得」をテーマに、長崎市社会福祉協議会で災害ボランティアを担当する松本さん・本村さんと、元消防職員の御厨さんをゲストとして開催しました。



この日はまず、社会福祉協議会の松本さん・本村さんから災害ボランティアに

ついてのお話を聞いた後、実際に会場で非常食(缶詰・レトルト食品と加熱剤をセットにした製品)を調理し、試食しました。

その後は元消防職員の御厨さんが、「自分の命は自分で守る」という原則と、日頃から災害を意識して、自分を守る知識や技術を高めていくことの重要性について話しました。

参加した皆さんは、災害に対する日々の備えの大切さを再認識したようです。



「被爆70周年から未来へ」 —ちゃんぽんミーティング

10月28日(水)、「被爆70周年から未来へ」をテーマにちゃんぽんミーティングを開催しました。

今回は、被爆70周年記念事業に取り組んだ市民活動団体や文化団体の皆さんを中心に15人が参加し、活動紹介と意見交換を行いました。

参加者からは、「この事業をきっかけに(団体の活動分野である)音楽に携わる人たち以外との交流が生まれたので、これからも広げていきたい」「音楽や演劇など、表現の仕方はいろ



いろだが、長崎を良くしたいという共通した想いのもと、何らかの形で手を取り合っていきたい」といった、今後につながりそうな意見が出ていました。

一方、活動を継続するにあたっては資金面などの課題があり、どのような工夫ができるか悩んでいるという声も聞こえました。

次回は、12月18日(金)、「長崎の海を活かしたまちづくり」をテーマに開催します。

